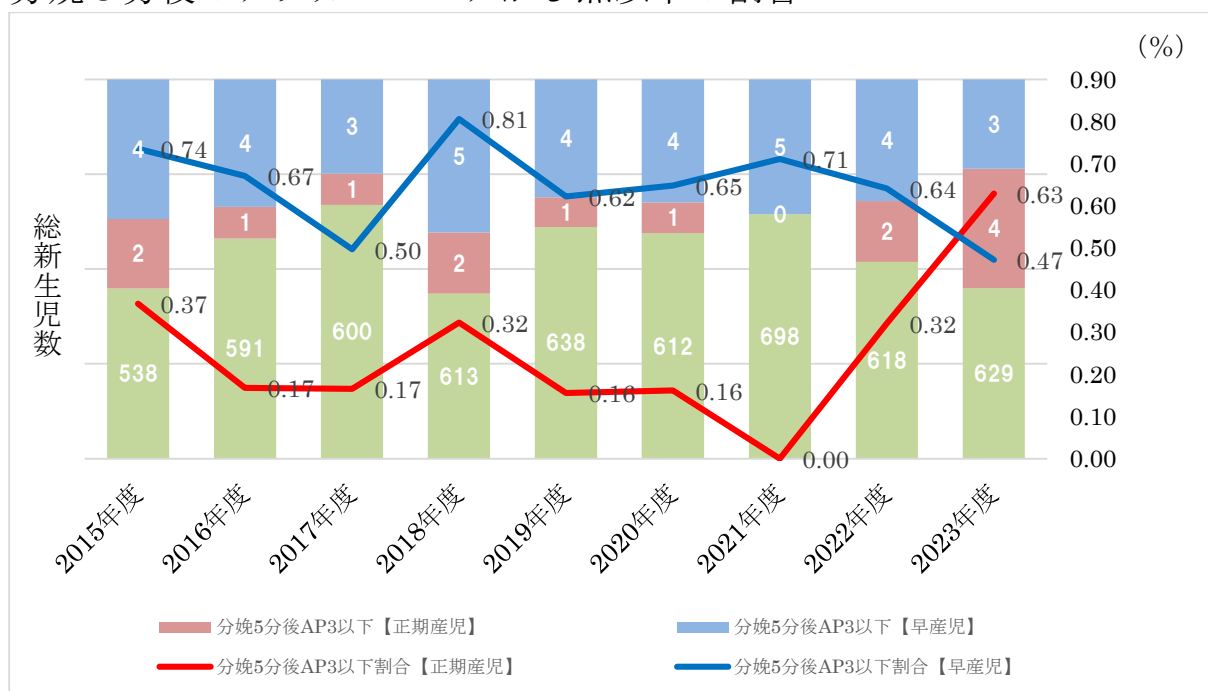


分娩5分後のアプガースコアが3点以下の割合



アプガースコアは、出生5分後のスコアが新生児の神経学的な長期予後を反映する指標であり、4～7点で軽症仮死、3点以下で重症仮死と定義されている。

当院におけるアプガースコア3点以下の新生児の発生率は、2014年の総合周産期母子医療センター登録以降、正期産児では0～0.63%、早産児では0.17～0.47%と、概ね横ばいであった。

当院の分娩数は漸増傾向で、それに伴ってハイリスク妊娠・分娩数も増加し、早産の割合も2017年度23.7%、2018年度25.4%、2019年度21.1%と高止まりしている。こうした状況の中でもアプガースコア3点以下の新生児の発生率に変化がないことは、当院の周産期医療体制レベルが維持されている可能性があるが、今後さらなる体制の強化により、アプガースコアの向上に努めたい。

データ提供 看護部 B-3 病棟（産科）